



支援機器相談シート

相談内容	<p>自分の思いを伝えられるようになってほしい。</p> <p>発語はないが、簡単な指示理解はできる。日常生活の中でできることは多い。困ったとき、やりたいことがあるときなどに伝える手段を探したい。どうしてよいか分からず、困惑することがある。</p> <p>(手段としての課題と、状況処理し自ら考えること、相手に伝えようとする事などの主体性が課題であると感じる)</p>
相談結果	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を聞いて、物を選んだり、行動を選択したりすることができる。 ・活動室などの知っている場所では、いくつかある活動用具の中から、指差しでやりたいものを示すことができる。 ・初めてのことは不安を感じる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを伝える手段を増やしてほしい <p>相談結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れている人たちとのコミュニケーションを中心に、やったことのあることから語彙を少しずつ増やしていく。新しいことはまず1個から。 ・本人の中で、選びやすいもの(絵、文字、言葉、実物)をコミュニケーションの受信発信に取り入れていく。文字は現在、学習中ですぐにコミュニケーションに活用することは難しい。 ・「トイレに行く」「～する」などの行動を時間のルーティンで決めると本人が発信することに慣れていきやすい。 ・スーパートーカーやドロップ系アプリなどのシンボルコミュニケーションツールの活用。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>[スーパートーカー]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>[シンボルコミュニケーションツール]</p> </div> </div> <p>・家庭では、本人が母親に学校であったことを伝えようとしているが、母親になかなか伝わらずに涙したり、怒ったりすることがある。</p> <p>→指導者が音声としてその日の出来事を吹き込み、保護者へ伝えることで、保護者は本人が話す内容を事前に分かるので、コミュニケーションをとりやすい。</p>